

ドーハ 2019 アジア陸上競技選手権大会 日本代表選手選考要項

1. 編成方針

東京 2020 オリンピック競技大会の成功に向けても、2019年9月に開催されるドーハ 2019 世界陸上競技選手権大会は重要な大会である。本大会で優勝することでドーハ 2019 世界選手権の参加資格を得るとともに、東京 2020 オリンピックの参加資格として重要と想定されるワールドランキングを高めるためにも、本大会でのメダル及び8位入賞を目指す選手団を編成する。

2. 期日

2019年4月21日（日）～24日（水）

3. 場所

ドーハ（カタール）

4. 種目（案）

（1）男子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、110mH、400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、十種競技、4×100m リレー、4×400m リレー

（2）女子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、100mH、400mH、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、七種競技、4×100m リレー、4×400m リレー

（3）混合

4×400m リレー

5. 選考基準

各種目における選考の優先順位は、下記の通り。

（1）個人種目

1) 下記の2つの条件を満たす競技者を内定する。

①2018年12月31日時点の国際陸上競技連盟（以下「IAAF」という。）が公表するワールドランキング（テストサイト含む）において、各種目日本人最上位の競技者で、1カ国2名でカウントした場合、アジア8位に入る競技者。

②IAAFが公表する2018年記録ランキングにおいて、各種目日本人最上位の競技者で、1カ国2名でカウントした場合、アジア8位に入る競技者。

- 2) 2018年12月31日時点の世界ランキング、IAAFが公表する2018年記録ランキング、2018年度の主要競技会成績を基に、本大会でのメダルまたは入賞が期待できる強化委員会が推薦する競技者。
- 3) その他、強化委員会が推薦する競技者

IAAF ワールドランキングテストサイト

<https://worldrankings-staging.aws.iaaf.org/home>

【注意】正式なランキングは2019年1月以降IAAFより発表予定。

(2) リレー種目

リレー種目の代表の選考は、個人種目に準じて選考するが、リレーの特性を考慮する。

6. 選考方法

選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し2019年2月上旬（予定）に選考委員会で決定する。

また、選考後の代表選手の入替えについては、強化委員会にて変更案を作成し、専務理事が承認する。

7. 補足

- (1) 本大会の期日、種目、参加資格等がアジア陸上競技連盟から発表されたあと、選考要項の変更の可能性はある。
- (2) **IAAFが公表する2018年12月31日時点の世界ランキング（テストサイト含む）で、選考に関わる部分において記録の漏れが確認された場合、そのポイントを修正する場合がある。**
- (3) 本大会は、ドーハ2019世界選手権の日本代表選考競技会として指定される。
- (4) 種目毎の代表は、アジア陸上競技連盟が定めるエントリールール以内の人数とする。
- (5) 代表選手は本連盟が定める義務を遵守するものとする。
- (6) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
 - 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
 - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
 - 3) 本連盟が定める義務を遵守しない場合
- (7) 選考から派遣までの期間を考慮し、代表選手は派遣まで定期的に各種目のオリンピック強化コーチへのトレーニングの進捗状況を報告する義務を有する。
- (8) 選考後のトレーニング状況の報告により、医事委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を有する。

以上